



●イヴ・サンローラン展のご案内

国立新美術館で9月20日から開催される「イヴ・サンローラン展 時空を超えるスタイル」との連動企画として、講演会・展覧会見学会が開催されます。国立新美術館研修室(定員30名)での対面と、ZOOMオンライン配信によるハイフレックス開催です。

対面参加は先着順でお受けします。お早めにお申し込みください。

◆日時：2023年10月20日(金)
17:00-18:30

◆会場：国立新美術館 3F 研修室 AB

◆テーマ：「イヴ・サンローランの色彩」
登壇者：小野寺 奈津 氏 (国立新美術館)
企画：室屋 泰三 氏 (国立新美術館)
司会：渡辺明日香 氏

<参加方法>

◆国立新美術館 研修室での対面参加 (イヴ・サンローラン展チケット付き)

定員：30名 (先着順)

◆オンライン参加 (講座受講のみ)

受講料：無料 (対面・オンラインともに無料・どなたでもご参加いただけます)

◆申込 URL

<https://forms.gle/7TGNRuZQ3CWxeZLJ>
6 (学会メールニュース No.442 から引用)

●貴石の色・ターコイズ

ターコイズ、別名トルコ石とも言われています。12月の誕生石として、人気の宝石です。産出地はトルコではなく、主にアメリカやエジプト、イランが多く、名前の由来は、旅のお守りとしてトルコ商人が広めたので、トルコ石とも言われています。



明るい青緑色の色味が特徴で、マンセル色相では、5BG~10BGの辺りですが色に深みや幅があります。ターコイズの中でもアリゾナ産のスリーピングビューティで採掘された石の色味は目の覚めるような美しいブルーと言われ希少性も高く高価なターコイズとして人気です。ブルーグリーンの色は、宝石の中に含まれている銅や鉄の含有量により、薄い水色や緑がかったものや、ネットの編み目の模様があり、その自然のブルーグリーンの色味の美しさに私たちも虜になっています。

ターコイズのブルーグリーンの色味はイライラの感情の波を鎮める穏やかな心を持つ色と言われて、古くから魔除けや旅のお守りとしての人気は、この色味にも意味があるのでしょう。 (田森恭子)

●大辞泉ひろいよみ 37 -お

黄白：おうびやく。こうはく。金銭。

黄変：変色して黄ばむこと。

黄麻：おうま。ツナソの別名。こうま。黄麻紙の略。

黄麻紙：オウマと化学パルプを配合して作った紙。キハダで染めた麻紙。奈良時代、多く写経用に漉かれた。黄紙。こうまし。

応用美術：芸術としての美術を日常生活に応用したもの。工芸美術・装飾美術・デザインなどをさし、広義には建築も含まれる。

大中黒：鷲の矢羽で、中央部の黒い斑が大きいもの。

大中白：鷲の矢羽で、中央部の白い斑が大きいもの。

大帽子花：ツユクサの園芸品種。花が大きい。花の青色の汁を、友禅染の下絵書きや和紙の着色に用いた。観賞用。

奥絵師：江戸幕府の御用絵師のうち、最も格式の高い職位。狩野派の鍛冶橋・木挽町・中橋・浜町の四家。世襲された。

押し絵：厚紙を花鳥・人物などの形に切り抜き、綿をのせて美しい布で包み、物に張り合わせた細工。羽子板・壁掛けなどに用いる。

擦し染め：おしぞめ。なっせん(捺染)に同じ。
*大辞泉：小学館発行国語辞典 (永田泰弘)